

にいがた労福協

<ライフサポートセンター>

No 30 2017年 7月 15日 発行
 一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
 〒950-0965 新潟市中央区新光町6番地2
 Tel 025-281-0890 Fax 025-281-0891
 e-mail: ni-rfk@bz04.plala.or.jp
 URL http://www.niigataken-rofukukyo.com/
 発行責任者 間 英 輔

新潟県労福協第37回定時総会

格差と貧困の是正をめざし、労働団体・事業団体の連携強化を！



6月20日（火）、新潟東映ホテルにおいて、県労福協第37回定時総会が開催され、会員団体から16名が参加しました。総会では、この1年の事業報告と2017年度の事業計画について全体の意思統一をはかり、役員改選では、4名の理事・監事が交代となりました。

主催者を代表して、齋藤理事長から、「事業の特徴的な動向として、①ライフサポートセンター評価・検証委員会の報告に基づき、今年4月から4つの地域センター（にいがた・県央・ながおか・柏崎）、4つのサテライト（下越・佐渡・見附・上越）を配置し、地域に根差した事業を進めていくこと、②ろうきん財団との連携事業である「ワーク&ライフフォーラ

一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会

役員名簿

（任期 2017年～2018年度）2017年6月20日 第37回定時総会

役職名	氏名	所属団体	役職名
理事長	齋藤 敏明	連合新潟	会長
副理事長	江花 和郎	労働金庫	理事長
副理事長	小野塚 豊	総合生協	理事長
専務理事	間 英輔	労福協	専務理事
理事	齋藤 悦男	自治労	執行委員長
理事	羽賀 実	JAM新潟	財政委員長
理事	米山 哲也	連合新潟	副会長
理事	小熊 勇	交通労連	執行委員長
理事	榎本 朋子	自治労	書記次長
理事	牧野 茂夫	連合新潟	事務局長
理事	中川 亨	労働金庫	専務理事
理事	山口 栄	総合生協	専務理事
理事	土田 啓介	労信協	専務理事
理事	早川 武男	退職者連合	会長
理事	青木 信之	労金財団	事務局長
理事	石本 伸二	新潟地区	会長
理事	矢島 良彦	長岡地区	会長
理事	羽深 浩一	上越地区	会長
監事	筒井 泰樹	連合新潟	副事務局長
監事	大岩 敏和	労働金庫	常勤監事
監事	関川 稔	総合生協	常務執行役員
（理事 18名 監事 3名）			
事務局長（LSC・県民生活）	小野塚勝一	総合生協	
事務局長（総務・国際交流）	東條 雅夫	労働金庫	



ム・セミナー」は5回（年）目を迎えた。

また、「にいがた福祉リーダー塾」の「実践講座」と位置付ける「未来塾」を開催し、さらに充実を図りたい、④中国・韓国・ロシアの労働組合と長年にわたる交流実績もあり、日韓・日ロ両親善協会の事務局や役員を担っており、国際交流において県労福協の存在が大きくなっていること等、変化する社会の中にあつて会員団体の皆さんと力を合わせ、県内に暮らす多くの人たちの支えとなる運動を推進していく。

また、組織と運動の充実・強化に向けた取り組みとして、①国際労働財団（ジラフ）からの要請を受け、海外の労働組合関係者の視察を受け入れるための国内事前調査活動として、ライフサポートセンター、パーソナル・サポートセンターを視察した。

今後、海外の労働組合関係者の受け入れが想定される。②新潟県労福協は来年6月13日に創立30周年を迎える。30年を振り返るとともに、次の10年、20年につないでいくことが大切である。

③広げてきた事業をどう充実させるのか。運動体としての労福協をどう築いていくのか、私たちがもてる資源の中で最大限の力を発揮していきたい。④6年間専務理事を務めた山田専務が退任する。

この数年間の事業の拡がりや山田専務のキャラクターのなせる業であり多大な功績に感謝申し上げます。新たな体制の中で運動の定着と前進をめざす。」との決意が表明されました。

なお、役員改選で山田専務理事の後任として、間英輔(国公総連・全農林出身)氏が専務理事に就任しました。

終了後、恒例の全体交流会が開催され、米山県知事、新潟市長(代理)をはじめ、多くの来賓の皆様から激励に馳せ参じていただきました。

交流会では、今回の定時総会を最後に退任された役員、とりわけ山田前専務理事の労をねぎらい、新たな時代に対応しうる労福協運動の前進を全体で確認し散会となりました。

フードバンクにいがた

第5回定期総会&シンポジウム

5月13日(土)、新潟市中央図書館(ほんぽーと)において、第5回フードバンクにいがたの定期総会が開催され、約80名が参加しました。

定期総会は、斉藤運営委員を議長に選出し、高見代表の挨拶に続き、2016年度活動報告と2017年度活動計画ならびに新たな運営委員と評議員など、新体制が承認されました。



総会終了後、「子どもの明るい未来をつなげよう―ひとり親世帯を支える地域力―」をテーマに、記念シンポジウムが、開催されました。ひとり親家庭の生活苦や子どもの成長に関する食生活・教育など、人格形成に必要なサポートが十分でない社会が拡がりを見せています。

ひとり親世帯の困りごとの支援を地域社会でどのような仕組みづくりをするか、どう解決したらよいか問われています。

<コーディネーター>

小池 由佳 氏(新潟県立大学子ども学科)

<シンポジスト>

水品きく枝 氏(県保健福祉部児童家庭課長)

小林 和代 氏(県母子寡婦福祉連合会副会長)

小野寺りち 氏(母子生活支援施設さつき荘施設長)

土田美千代氏(ライオンズクラブ地区コーディネーター)

このシンポジウムは、地域社会における支援の仕方、行政の取り組みを通じて、私たちは、いま、何ができるか課題を探り検討するものです。

新潟県消費者協会通常総会&設立50周年記念式典・記念講演

設立50周年記念式典・記念講演

特定非営利活動法人新潟県消費者協会が設立50周年を迎え、4月25日(火)、万代シルバーホテルにて、平成29年度通常総会および設立50周年記念式典・記念講演会が関係者180名が参加する中で開催



今回はシンポジウムを通じて支え合える社会についてお互い理解を深め、さらに考え行動していくメッセージとなりました。

されました。記念講演では、50年という時代の推移と社会変化の中で消費者問題も大きく変わっていること、これからの地域を支える消費者活動のあり方等、早稲田大学名誉教授(元三重県知事)・北川正恭氏より示唆に富んだ楽しい内容の講演をいただきました。県消費者協会は昭和42年に設立され、今日まで消費者の生活の安定と向上をはかる必要な情報を発信し、消費者の自立を促すべく消費者教育等の活動を取り組まれてきました。

近年、急速なインターネットの発達に伴い、新たな手口による悪質商法や詐欺事件が次々に発生し消費者トラブルは多様化、複雑化しています。また、高齢化の進行により、判断能力が不十分な方を

消費者被害から守る「見守り」の取り組みも重要となっています。

今後は、新たな50年に向けて、一層の事業の充実をはかり、真に消費者が主役の社会、消費者市民社会の構築に向け活動を推進しうる組織の強化と発展をめざしていただくよう期待いたします。

4月17日(月)、生活困窮者支援事業の実施団体等が集まり、これまでの取り組みや課題について報告・交流し合う、中央労福協主催の第1回生活就労支援連絡会議が連合会館(東京)で開催され、全国から関係者27名が参加しました。

会議の前半では、10団体から現状報告があり、相互に質疑や意見交換がはかれました。

その後、本事業の3年後の見直しを控え、生活困窮者自立支援法



2017年度中央労福協 生活就労支援連絡会議

の現状と課題について、厚労省・援護局地域福祉課生活困窮者自立支援室・本後健室長から、事業の見直しに向けた論点整理を中心に説明がされました。

まだ支援につながっていない生活困窮者への対応、子どもの貧困、高齢の生活困窮者など、対象者に応じた支援の必要性、支援メニューの不足、自治体間の取り組みのばらつきなど、数回におよぶ見直しに向けた中間報告がされました。こうした課題をふまえ、今後、法制度のあり方を検討していくこととなります。

生活協同組合コープクルコ 創立総会が開催される!

新潟県総合生協の宅配事業を引き継ぎ立ち上げた、「生活協同組合コープクルコ創立総会」が6月1日(木)、ホテルオークラ新潟において、134名が参加し開催されました。

代表発起人の小野塚豊総合生協理事長から、①クルコ事業のDNAをコープクルコへ引き継ぎ、守りから攻めに転じる、②実行する力、改善する力、生み出す力を強め、現場力を高める、③この間の苦難を乗り越え新たな歴史の扉を力強く開く、との決意が表明されました。

来賓として、新潟県生協連会長理事

・長谷川 聡氏、日本生協連中央地連事務局長・木戸玲子氏、コープネット事業連合会理事長・赤松光氏、日本コープ共済連理事長・佐藤利昭氏の4名から



連帯と激励の祝辞が述べられました。

議案審議では、基本方針、定款類、2017年度活動計画・予算案等、提出されたすべての議案が賛成多数で承認されました。

基本方針では、安定した事業継続を行うためコープネット事業連合に加入し共同購入から始まったクルコ事業をその歴史とともに、コープクルコが引き継ぎ、組合員のニーズや地域社会の期待に応える事業を展開していくこととしています。

総会終了後に開催された第1回理事会では役員の互選により、新理事長に山口栄氏(総合生協専務理事)、新専務理事に菊池正文氏(総合生協常務執行役員)以下、20名の理事・監事による新体制が確立されました。

夢咲Clubの案内

夢咲Clubは労金に加入していない勤労者の方々が、労金を利用する際に加入いただくメンバーズクラブです。

預金、給与振込、公共料金自動振替をはじめ、住宅ローン、マイカーローン、教育ローンなど、各種ローンのご利用ができます。

<ご加入資格> 県内に居住または勤務する勤労者等
<ご入会手続き> 最寄りの労金本支店で手続きできます。



労金・夢咲Club運営事務局 新潟県労働金庫内

連絡先 Tel 025(201)8765

E-mail: yumesaki@n-yume.jp

新潟県労働金庫 第65回通常総会



6月26日(月)、ANAクラウンプラザホテルにて、新潟県労働金庫第65回通常総会が開催され、164名が参加しました。

開会にあたり、新潟労金を代表して、江花理事長から、「労働組合と会員・労金との関係について」、「新たな多重債務問題の現状」、「融資の純減など経営状況に関すること」等、周囲の厳しい競争状況も含め、改めて労金は何のために存在するのか、利用者の信頼に応えていく決意も含め挨拶がされました。

その後、次の4団体からの来賓挨拶をうけ、22団体会員への事業表彰が行われました。

(来賓)

◇新潟県産業労働観光部副部長

小林 清吾 氏

◇連合新潟 会長

齋藤 敏明 氏

◇新潟県労連議長

佐藤 一弥 氏

◇総合生協理事長

小野塚 豊 氏

議案審議では、第65期業務報告、第65期貸借対照表および損益計算書承認の件、定款の一部変更の件、役員補欠選任の件、退任役員に対する慰労金贈呈の件など、総会スローガンも含め承認されました。

柏崎地区労福協主催
ライフサポートフェス
仕事はやり方、
時間は使い方、
人生は生き方！

柏崎地区労福協主催の「かしわさきライフサポートフェス」が6月10日(土)、柏崎市市民プラザにて開催され、組合員・市民など約100名が参加しました。

村山柏崎地区労福協会長の挨拶に続き、基調講演として、「明るい職場づくりのための安全と衛生」をテーマに、講師に大西金吾氏(県労働衛生医学協会常務理事)を迎え、ユーモアたっぷりの講演に会場は笑いの渦となりました。

その後、参加者は、9カ所に設置されたセッションに分散して参加しました。開催されたセッションは左記のとおりです。

①身体の調子を整える「コンディショニング」講座、②男性諸君、得する話、損する話！素敵な女性とであうために、③法的な視点から見る職場のラインケア講座、④地産・地消！地元のお魚を使いお魚のさばき方教室、⑤親子で学ぼう！働く人のワークルール講座、⑥みんなで学ぶ認知症サポーター講座、⑦認知症の症状とその対応のコツ、⑧職場における働く人のメンタルヘルズ講座、⑨安心・安全！地元のたまご・産直お肉のおはなし、⑩食事と運動からはじめるからだスッキリ講座など、有意義な時間を過ごしました。



KurūCo 新規ご加入キャンペーン

毎日たべものだから 新潟産・国産にこだわります

9月5日までご加入いただくと 2品プレゼント！

国産豚挽肉 パラパラミンチ 300g

とうふ家族(絹) 国産大豆100%使用 とうふ家族 4個 320g

3週間で3品注文したと

1週目のご注文で 生揚げ大ご(巻玉) 6個パック MS-LL 贈

2週目のご注文で フレーン ヨーグルト フィズス 400g

3週目のご注文で 生揚げ大ご(巻玉) 6個パック MS-LL 贈

もう3品プレゼント！

※プレゼント商品は内容が変更になることがあります。あらかじめご了承ください。詳しくは組合生協のホームページをご覧ください。

詳しくはホームページをご覧ください。お得な特典があります。

クルコ 検索

<http://www.niigata.coop>

いろいろたいへん… まとめてスッキリ！

カードローン ショッピングリボ キャッシング

ろうきん おまとめローン

〈ろうきん〉おまとめローンのメリット

- 毎月の返済額が少なくなる可能性があります。
- 利息を減らすことができる可能性があります。
- 返済の管理が簡単になります。

●ご融資金額は最高300万円 ●最長15年返済 ●保証料0円(ろうきん負担)

新潟ろうきん 0120-191-880 (平日9:00~17:00)

新潟ろうきん 検索

第88回新潟県中央メーデー

長時間労働の撲滅、ディーセントワークの実現をめざし！



5月1日
(月)、長時間労働の撲滅、ディーセントワークの実現、今こそ「底上げ・底支え」の

実現をめざし、第88回新潟県中央メーデーが盛大に開催され、約4000名の組合員・家族がデモ行進しながら新潟市陸上競技場に結集しました。

齋藤実行委員長の挨拶に続き、県知事・新潟市長、労働局長、国会議員、地方議員等から連帯と激励の挨拶を受けました。イベントは、プラカードコンクール、花いっぱい運動抽選会、ラッキーマンバー抽選、大声コンクールで盛り上がりしました。また、物資販売は、糸魚川大火復興応援として、糸魚川市の地酒、海産物、加工品などを販売し、参加者の協力により短時間で完売となりました。

風の強い寒い日でしたが、労働者の祭典、働く者の団結と連帯の力を示す1日となりました。



東部ブロック労福協
第11期(前半)
福祉リーダー塾

労働者福祉の新たな創造をめざし、5月26日(金)～27日

(土) にかけて、労福協運動の新たな創造をめざし、東部ブロック労福協第11期(前半)福祉リーダー塾が静岡県三島市で開催されました。

新潟県労福協からは、東條事務局長(労福協)、細野弘康(連合新潟地協)、嘉村真人(新潟労金)、瀬賀研(総合生協)の4名が出席しました。

第1講座

「労働運動と労働者自主福祉運動の理念と歴史」
講師 高橋 均 氏

第2講座

「労働組合・労働者自主福祉事業団体の活動事例」
講師 麻生 裕子 氏
(連合総研・主任研究員)

第3講座

「連帯社会の担い手としての労働者自主福祉へ」、「小論文の提出と作成のポイント」
講師 高木 郁朗 氏

(日本女子大学・名誉教授)
第4講座

第1部 「労働金庫運動の基本方向と課題」
講師 長谷川真人 氏
(中央労働金庫)

第2部 「全労済運動の基本方向と課題」
講師 末吉 英男 氏
(全労済東日本事業本部)

4つの講座を受講後、各グループに分かれ、労福協運動の理解を深めるためや小論文のテーマ設定についてグループ討議により議論を深めました。



STOP! 長時間労働

連合なんでも

労働相談ダイヤル

相談
無料

秘密
厳守

携帯
スマホ
OK

0120-154-052

日本労働組合総連合会(連合)

日本のフルタイム労働者は、年間平均
2000時間を超えて働いています。
長時間労働やストレスなどが原因で、心やからだの不調になるケースも見られます。
自分や大切な家族を守るためにも、長時間労働を是正し、誰もがいきいきと暮らす
ハッピーライフを実現しましょう。



第30回チャリティゴルフ大会 糸魚川大火の被災地に寄付！

＜大会の上位入賞者＞

東コース優勝者	岡田 雅彦 (生協連)
西コース優勝者	石原 英之 (J R総連)
総合 準優勝	小池 克彦 (新潟印刷)
東ベストグロス	立川 直哉 (J AM新潟)
西ベストグロス	井浦 幸二 (J P労組)

5月12日 (金)、労福協主催による第30回チャリティゴルフ大会がフォレストカントリー倶楽部にて開催されました。

大会当日は、前日までの雨も上がり、暑くも寒くもない絶好のゴルフ日和の中、参加者45名は持ち前の腕と練習の成果をいかんなく発揮され、それぞれにプレーを楽しみながら交流を深め合うことができました。

参加者の厚意により集まったチャリティ金8万円の寄付金等を合わせ、昨年12月に甚大な被害を受けた糸魚川大火の被災者支援として糸魚川地区労福協へ送らせていただきました。ご協力大変ありがとうございました。



格差と貧困、社会的孤立の拡大に對し、いま、私たちは何をすべきか、そのことを追求する全国研究集会が6月5日(月)・6日(火)、横浜市「ワークピア横浜」で開催され324名が参加しました。

主催者を代表して、神津会長から、①奨学金問題の改善を求めた運動は、地域の様々な団体と連携し、給付型奨学金制度の創設が実現し運

**2017年度中央労福協全国研究集会
『どうする日本の貧困問題！求められる地域の役割とは？』**

動の大きな成果を上げた。

②格差と貧困が拡がり6人に1人の子どもが貧困状態にあり、多くの若者は不安定雇用・低賃金、長時間労働の中で働かされている。

③本研究集会は、昨年の「あらゆる世代・層に広がる格差と貧困を解消するために！」から一歩進めて「どうする日本の貧困問題！求められる地域の役割とは？」をテーマとした。地域での役割、地域でできることなど、労福協として検討していきたい。との挨拶がされました。

講演Ⅰ テーマ「社会の変化と生活困窮者自立支援」

講師 山崎 史郎 氏

講演Ⅱ テーマ「日本における子どもの貧困の現状と対策」

講師 宮本みち子 氏

(放送大学副学長)

特別報告

①「様々な協働によるフードバンク活動の推進」

報告者 鈴木 和樹 氏

(認定NPO法人フードバンクふじのくに事務局次長)

②「ここに食堂の取り組み」

「つながりを広め、すべての子どもの幸せをめざして」

報告者 岡部 佳代子 氏

(茨城県保健生協理事)

特別公演「生きてさえいれば、いつか笑える日が来る」

生笑一座(いきわらいいちご)

奥田 知志 氏

(NPO法人抱樸理事長)



2017ワーク&ライフセミナーin新潟 地域医療・介護・予防の今を知ろう！学ぼう！



6月24日(土)、新潟地区労福協の「2017ワーク&ライフセミナーin新潟」が新潟東映ホテルにおいて開催され、組合員や市民など96名が参加しました。

石本地区労福協会長の挨拶後、「地域包括ケアシステムの現状と課題」をテーマに講師・南真由美氏(新潟市議会議員・前厚生常任委員長)を迎え、地域包括ケアシステム構築のポイントやサービスの種類、医療と介護の連携等について講演がされました。

続いての講演は、日本音楽レ・

クリエーション指導協会理事長・堀口直子氏を講師に迎え、『認知症の基礎知識と認知症予防のヒント』音楽で脳を活性化』をテーマに脳トレニングを取り入れた実践的な講演が繰り広げられました。

「人は必ず認知症になる、早いか遅いか、なる前に亡くなるかのいずれかである。しかし、防ぐことが遅らせることは出来る。その予防策は、運動、地域活動、コミュニケーション、カラオケ、生活習慣の見直しなどである。とにかく音楽と脳トレと体操を同時に行うとかなりの認知症予防になる」ということでした。

2つの講演は、これから日本が抱える高齢化社会における介護保険制度のあり方や健康寿命をいかに伸ばすか、考えさせられる貴重な講演となりました。

新役員紹介

6月に開催された、労福協第37回定時総会で山田前専務の後任として専務理事に就任しました。

5月末日で農林水産省北陸農政局の職場を辞職し、総会以



専務理事
間 英 輔

降、労福協でお世話になっていきます。私は、必ずしも真面目な公務員ではなく、職場に入省後、全農林労働組合運動に多くの勢力を傾注してきました。私にとって労福協運動は未知の世界であります。労福協が目指す「連帯共同でつくる安心・共生の福祉社会」の構築に向け、微力ですが全力で取り組みます。

この間、格差と貧困の拡大、非正規労働者増大など厳しい雇用情勢、また、社会保障制度など社会的セーフティ機能が脆弱化し、劣化した悲惨な社会現象が多く発生しています。

いま、私たちはどのような時代の立ち位置にいるのか、全ての働く仲間が、組織・未組織を問わずその理解を深め「安心・共生の福祉社会」の実現に向け、労働運動および労働者福祉運動、消費者運動、市民運動が融合して、社会の不条理に対して共感の得られる社会的運動を積み重ねることが求められています。

地域労福協、ライフサポートセンター、パーソナル・サポートセンター

労働金庫から生活資金や住宅資金を借り入れる際の保証人となる
勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】 (2017年5月末現在)

保証引受の内容	保証引受残高(千円)
無担保ローン	56,446,248
有担保ローン	132,454,331
合 計	188,900,579

一般財団法人新潟県労働者信用基金協

〒951-8113 新潟市中央区寄居町332番地18

等の取り組みを、行政、市民団体やNPOの皆さんなど、より多くの団体・個人との連携を強め、「福祉はひとつ」の基本理念の下、一人でも多くの人が幸せを感じられるような社会の実現をめざすことが大切です。

課題は、山積ですがこれまでの活動を強化、発展させ、地域市民の期待に応える運動を進めていく所存です。よろしく願います。

当面の主な活動予定

- 7月6日（木）協働組合提携集会
6日（木）柏崎地区労福協総会
10日（月）にいがた協同ネット運営委員会
11日（火）フードバンクにいがた運営委員会
14日（金）第5期にいがた福祉リーダー塾
15日（土）〃 〃
18日（火）第213回東部ブロック労福協幹事会
19日（水）〃 〃
20日（木）新潟県日口親善協会定期総会
21日（金）上越地区労福協総会
25日（火）中央労福協事業団体・地方労福協会議
26日（水）〃 〃
26日（水）長岡P S 支援調整会議
27日（木）新潟P S 支援調整会議
8月 7日（月）第3回ワーク&ライフフォーラムin長岡
実行委員会
8日（火）フードバンク運営委員会
9日（水）ながおかLSC見附事務所運営会議
22日（火）フードバンク役員会
23日（水）第115回県労福協理事会
24日（木）連合本部・中央労福協来新
28日（月）長岡P S 支援調整会議
9月 2日（土）2017ワーク&ライフフォーラムin 長岡
3日（日）勤労者駅伝大会

2017にいがた ワーク&ライフフォーラム

in 長岡

連帯・協同でつくる安心・共生の福祉社会の実現に向けて

午前部

10:00～
基調講演
冒険から社会貢献へ
羽賀友信さん & 高橋なんぐさん
コーディネーター：小野沢裕子さん

午後部

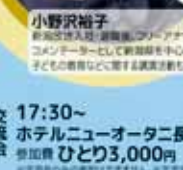
13:30～
セッション
県内・市内で活躍する13団体
※詳細は裏面参照



羽賀友信
NPO法人市民活動ネットワーク会副代表理事、
長岡市国際交流センター長。
世界50か国以上を訪問し、国内外で国際協力
や文化交流などの活動について長年かかわる。



高橋なんぐ
NAMARAメンバー、ヤングギャベツ結成。
0歳～11歳までニュージーランド、オーストラリアで2年間海外生活。



小野沢裕子
新潟大学入生・奨学生、フリースペースサード
コミュニティとして新潟県を中心に活躍。
子どもの教育などに際す読書運動も行っている。

2017年 9/2(土) 受付9:30開始 10:00～

会場 ホテルニューオータニ長岡 NCホール

新潟市中央2丁目東側（旧長岡駅西口）
TEL: 055-3733111(代) 1F
※本場との間は公共交通機関をご利用ください。

主催 2017にいがたワーク&ライフフォーラム実行委員会
共催 一般社団法人新潟県労働者福祉協議会、新潟経済産業連合会、
新潟県民生涯学習協議会、一般社団法人新潟うらなひ福祉財団、
新潟県生涯学習振興財団、新潟県労働政策研究センター
後援 新潟県、新潟市、新潟市教育委員会、新潟県工業会連合会、JICAにおおが
ち、NPO法人市民活動ネットワーク会、公益財団法人長岡市勤労青年支援センター

交流会

17:30～
ホテルニューオータニ長岡 白鳥
参加費 ひとり3,000円
※要申込。当日は先着順です。

要申込 参加無料 (交流会除く)

申込期間 **7/28**

定員 400名

申し込み方法
①申し込みフォーム記入
②申し込み用紙提出
③申し込み金納入
④申し込み完了

お問い合わせ先 一般社団法人新潟県労働者福祉協議会 ☎025-268-5273 連絡先 ☎025-281-7555 長岡市勤労青年支援センター ☎0258-24-6515

申し込み先 お問合せ先 一般社団法人新潟県労働者福祉協議会 ☎025-268-5273

旅行企画・実施 新潟交通

新潟県労福協企画『友好の旅』

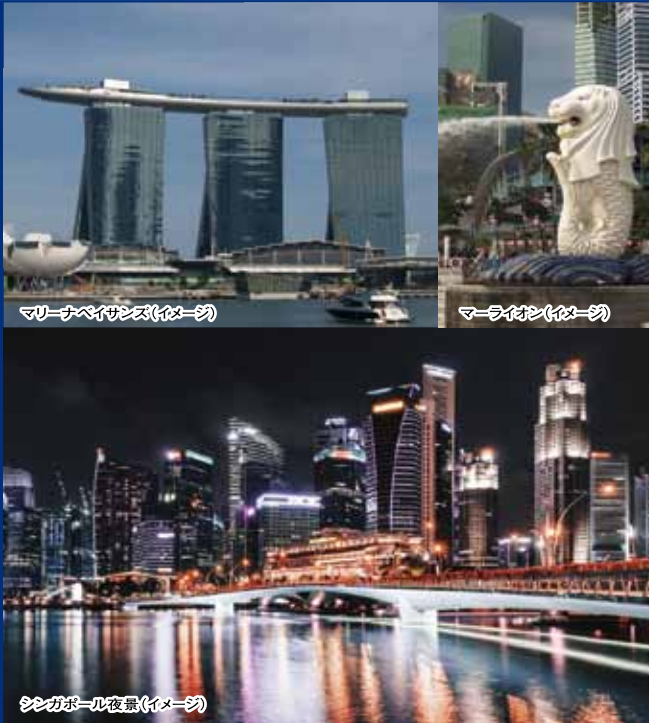
シンガポール

旅行出発日 2017年9月23日(土) 4日間

旅行代金 **129,800円** 2名様ツイン利用、おひとり様代金

日次	都市名	時間	旅行内容・食事・宿泊地
1	新潟 ソウル シンガポール	午後 夕刻 夜	新潟より大韓航空にてソウルへ。 ソウルにて乗継ぎ、シンガポールへ。 到着後、ホテルへ。 〈シンガポール泊〉☒機☒機
2	シンガポール	終日	朝食後、夕食まで自由行動。オプションツアーなどでお楽しみ下さい。 夕食は中華料理を楽しみながら友好パーティーです。 〈シンガポール泊〉☒朝☒夕
3	シンガポール	午前 午後 夜	朝食後、シンガポール市内観光 ●入場観光<世界遺産 シンガポール植物園(国立公園)に入場>、マリーナベイサザンズ展望台と施設内自由散策、民芸品などショッピング<マリーナオン公園> 昼食は飲茶をお楽しみ下さい。観光後、ホテルにてご休憩(お部屋は18:00までご利用いただけます) スチームボート(タイ風しゃぶしゃぶ)の夕食後、空港へ。シンガポールより大韓航空にてソウルへ。 〈機内泊〉☒朝☒夕
4	ソウル 新潟	朝 午前	ソウルにて乗継ぎ、新潟へ。 新潟空港到着後、解散。お疲れ様でした。 機☒夕☒機

●食事条件:朝食2回、昼食1回、夕食2回(機内食除く)●最少催行人数:25名●添乗員:新潟空港より同行いたします
 1●一人部屋利用追加代金 28,000円●利用航空会社:大韓航空(KE)エコノミークラス●利用ホテル:ホテルチャンセラ・アパート・オーチャード●こども代金(2~11歳) 124,800円、幼児代金(2歳未満) 26,000円 ※燃油不可運賃、現地空港税約11,500円(4月30日現在)が別途かかります(料金はレートなどの影響により変動します)



マリーナベイサザンズ(イメージ)

マリーナオン(イメージ)

シンガポール夜景(イメージ)

専用パンフレットをご用意しております

お申込み・お問合せ
総合生活グループ

コープ・トラベルセンター

http://www.niigata-travel.coop

新潟県知事登録旅行業第2-321号
全国旅行業協会正会員
株式会社 コープサービス
総合旅行業務取扱管理者 高橋 孝

新潟営業所
〒950-0086 新潟市中央区花園2-1-6
025-245-4110